



# パソコン同好会

放送大学山口学習センターサークル

機関誌 No. 113

Jun. 16, '19

文責 井手明雄

## 1, 前例会の結果 (第百十九回パソコン同好会)

- (1) 開催日：5月19日(日) 13:00~15:00
- (2) 場所：放送大学山口学習センター小講義室(山口大学・大学会館内)
- (3) 内容：
  - ① ワード・・・便利なショートカットキー使用の試み。複数のファイルから文章と図形を取り出し、本機関誌掲載の「五月の植物」の文章を、できるだけショートカットキーを使用して作成することを試みた。
  - ② ワード・・・前回積み残しのオリンピックシンボルマークの作成をした。普通の作図では輪が重なってしまうが、5つの輪が互いにくぐり抜けているように作図することがポイント。
  - ③ その他・・・特になし。

## 2, 今例会の行動予定 (第百二十回パソコン同好会)

- (1) 開催日：6月16日(日) 13:00~15:00
- (2) 場所：放送大学山口学習センター小講義室(山口大学・大学会館内)
- (3) 内容：
  - ① ブラウザ上でのショートカットキー使用の試み。
  - ② ワード・・・ショートカットキーを用いて、多くの画像が存在する文章の中から特定の画像を選択すること。
  - ③ その他

## 3, インターネット・エクスプローラー上でショートカットキー使用の試み。

放送大学授業科目の学習上、有益な情報がインターネットに多く存在します。しかし、これらの情報には著作権の問題やセキュリティの問題などがありますので、それらを考慮してインターネットを利用することにしましょう。また、ここではショートカットキーを用いることが目的ですから、それを利用しながら操作をしましょう。ワード上では素直にそのキーが使えたのにネット上ではうまくいかないのが工夫が要ります。

(註) セキュリティ・・・安全性や機密性を守ること。

著作権・・・情報をネット上では簡単に利用できても、それを再利用する場合は原作者の許可が必要です。許可が必要でない場合もありますが、そのときは使用約束を守ることが大切です。

例題として、ワードとインターネット・エクスプローラーを立ち上げ、(1) NHKの「ガッテン! 心臓病予防&筋力アップ!」の内容をネットで調べて、自分なりに必要な箇所をワードに取り入れる。(2) ネットで「ミヤマキリシマ」の画像を探し、ワードの文章に取り入れる。(3) 放送大学講義のテレビ配信のフリップをコピーする。

## (1) NHK 「ガッテン！ 心臓病予防&筋力アップ！」

(概略)

表題の内容を概略します。運動すると運動筋肉繊維が切れます。切れた筋繊維は IRS-1 (インスリン受容体基質) が治します。その時繊維は前より太くなります。運動しないときでも繊維は切れますが IRS-1 が働き修復します。この時は Cbi-b (ユビキチンリガーゼ) が IRS-1 を捕らえてその働きを邪魔します。大豆タンパク質があると Cbi-b が間違えて大豆タンパク質の方を捕らえて邪魔をするので、IRS-1 が正常に働きます。大豆タンパク質は食品中の脂質を体内へ取り込むのを阻害するので心臓疾患の減少にもつながります。

(操作) ① 表記で検索すると、NHK 番組「ガッテン」の「【ガッテン！】心臓病予防&筋力アップ！健康長寿の大豆に注目！」が表示されるので、これを見ます。

自分が欲しい箇所をマウスでドラッグし、[SHIFT]を押したまま必要な箇所でクリックします。次に[CTRL]+[C]。② [ALT]を押したままワードの画面が表示されるまで[TAB]を押す。③ [ALT]を押した後、[H]→[V]→[T]。④ 文章を自分なりに調整します。

②-2 一般的にはコピーは難しいですが、文章中にマウスポインタを置き右クリックするとリストの中に「ソースの表示」という項目がありますので、それをクリックしますと、ページを作成するためのプログラムが表示されますが、その中に欲しい文章がありますので、矢印キーでポインタを最初の部分に置いた後、[SHIFT]+各矢印キーで範囲を指定し、[CTRL]+[C]でコピーし、ワードに移動して、[CTRL]+[V]とします。

②-3 PDF ファイルで表示されている文章は、ファイル変換ソフトを使って Word 用の文章にします。変換ソフトを入手する必要があるので頭が痛いです。

## (2) ネットで「ミヤマキリシマ」の画像をワードの文章に取り入れ

画像を取り入れる操作だけでなく、複数の画像を取り入れてから一つだけをショートカットで選択することを体験します。① ブラウザのインターネット・エクスプローラーを立ち上げ、検索欄に「ミヤマキリシマ」と入力し、「画像」検索をします。② 画像の一覧が表示されるので、好みの画像をクリックします。画面の右上に「×」があるので、これをクリックすると元に戻ります。左右の「<」か「>」をクリックするとリストの左か右の画像に移動します。③ 好みの画像があれば、その画像に上でマウスの右をクリックします。リストから「コピー」の項目がある場合、[C]をクリックします。④ ワードに移動し ((1)の①参照)、矢印キーで適切な場所にポインタを持ってきて [CTRL]+[V]とします。ブラウザに戻り、同様にして、他の画像をワードに貼り付けます。⑤ 複数の画像の中から或画像を選択します。

ワード上で[ALT]を押した後、[H]→[SL]→[P]。画面の右端に選択オブジェクトの操作欄が表示されますが、更に、[TAB]を数回押しますと図の箇所に網目がかかるので [ENTER]を押すと画像がアクティブになります。これで、その画像を各種ショートカットキーで処理できます。いろいろな画像処理をしてみましょう。

## (3) 放送大学講義のテレビ配信のフリップをコピーする。

ここでは、「宇宙の誕生と進化」科目の第8回講義の「銀河の多様性と規則性」の中のフリップをコピーすることを例にして説明します。

① ペイントを立ち上げます。

② ブラウザ・「Internet Explorer」を立ち上げ、「放送大学 システム WAKABA」を起動し、「ログイン」ボタンをクリックし、自分の学籍番号及び暗証番号を記入し、ログインします。自分の試聴したい科目を選択します。ここでは、画面の中の「放送授業のインターネット配信」 → 「教養学部」 → 「自然と環境コース」 → 「宇宙の誕生と進化」 → 「第08回銀河の多様性と規則性」 → 「銀河の多様性」のフリップに来たら、[PRTSC-SYSRQ] をクリックします。③ [ALT]を押した後、[TAB]を押し「ペイント」のアイコンが強調されたら、指を放します。「ペイント」の画面のようになりました。

④ [ALT]を押した後、[H]+[PV]+[P] ペイントの画面に貼り付けます。矢印キーで画像を適切な位置に移動。 [ALT]を押した後、[H]+[SE]+[R]、マウスでドラッグして適切な大きさを設定します。その指定した画像を切り取るため、[ALT]を押した後、[F]+[N] → [N] → [CTRL]+[V]、として貼り付けます。これを保存するため、[ALT]を押した後、[F]+[A]として、ファイル名を書き入れ[ENTER]。

②でペイントを使わない方法が便利ですからそれを説明します。ワードを立ち上げておきます。②の講義の画面が出るようになったら、[ALT]を押した後、[N] → [SC] → [C]を押します。画面が霞がかかったようになり、「+」が写りますので、マウスで必要が画面をドラッグして切り取ります。ワード上には必要な画面のみが挿入されていると思います。この方法は、上記の③～④の操作が要りませんので楽です。

#### (4) ワードのショートカットキー

次に、主なショートカットキーの使い方を表にしましたので、参考にしましょう。

##### ワードのショートカット

目 的	ショートカットキー
ファイルを開くダイアログボックス表示	[CTRL] + [O]
リボンの表示／非表示	[CTRL] + [F1]
「検索」のダイアログボックス表示	[CTRL] + [F]
「置換」のダイアログボックス表示	[CTRL] + [H]
ワードの複数のウィンドウ開いている時切り替え	[ALT] + [TAB]
カーソルの移動、左、右へ文字移動	[←] か [→]
同上、一段上、下へ移動	[↑] [↓]
同上、一単語左、右へ移動	[CTRL] + [←]か[→]
同上、文章の区切り一段上、下へ移動	[CTRL] + [↑]か[↓]
同上、行の末尾か先頭へ移動	[END] か [HOME]
同上、1画面上、下へ移動	[PGUP] か [PGDN]
同上、次頁か前頁の先頭へ移動	[CTRL]+[PGDN] か[PGUP]
同上、ドキュメントの末尾か先頭へ移動	[CTRL]+[END]か[HOME]
同上、ウィンドウの末尾か先頭へ移動	[ALT]+[CTRL]+[END]か[HOME]
文字の選択で、左、右へ文字	[SHIFT] + [←]か[→]
移動と同じ操作で目的のところまで選択	[SHIFT] + 各キー

選択した範囲を切り取る	[CTRL] + [X]
選択した範囲をコピーする	[CTRL] + [C]
コピーしたものを貼り付ける	[CTRL] + [V]
画像を貼り付ける (1)	[ALT] → [N] → [P]
画像を貼り付ける (2)	→[TAB]→[↓] →[CTRL] + [ENTER]
画像の選択	[ALT]→[H]→[SL] →[P] →[TAB] →[ENTER]

#### 4、 6月の植物 (文章は朝日新聞社出版の『花おりおり』から引用)

ユキノシタ (雪の下) *Saxifraga stolonifera* ユキノシタ科

人家近くに分布。種子はできず、長くのびる側枝の先からふえる。いわばクローン植物であり、古く、薬用としてもたらされ帰化したとみられる。民間では生葉を搾り、幼児のひきつけや火傷の治療に。漢名・虎耳草。斑のある有毛の丸葉にちなむ。和名は白い舌状の花弁に基づき「雪の舌」か。また、矢を入れて背に背負う鞞の舌というふたの部分<sup>ゆき</sup>が葉と似ているからとの説も。



ユキノシタ

ドクダミ (戟草) *Houttuynia cordata* ドクダミ科

「毒<sup>だ</sup>矯め」に由来の名か。「矯」の字義は、改め、直すこと。毒消しや食あたりに使った。漢名の戟<sup>しゅう</sup>から十薬の名も。一つの花のように見えるが集合花で、中央の塔状の突起は多数の雄しべと雌しべ。花弁様の四枚は苞葉である。やはり薬効を持つユキノシタ同様、人里の植物で帰化植物か。



ドクダミ

ネムノキ (合歓の木) *Albizia julibrissin* Albizia マメ科

うっそうと茂る葉がすべて夕方から閉じ、垂れる。眠りの木の意から、合<sup>ね</sup>歓木の名で『万葉集』に三首。ただし、花は夕方開く。一つの花と見えるのは十~二十の小花の集合。花弁はごく小さい。目立つのは雄しべだが、花粉が発達するのは中央部の花のみ。葉は線香に使用。合<sup>こう</sup>歓からコーカの名も。



ネムノキ

タツナミソウ（立浪草） *Scutellaria indica* シソ科  
 誰が名づけたかは定かでないが、風流な名である。立浪草と綴り、花茎の先に片側を向いて重なり並ぶ花を、波頭に見立てた。色こそ違え、シソ科の上下に開き、広がるこの花には、確かにその雰囲気が感じられる。しかも、近縁のコバノタツナミは海岸に近い地に分布する。本種は低い山の林縁に生える。



タツナミソウ

ブライダルベール *Gibasis pellucida*  
 ツユクサ科

西洋では六月はあこがれの結婚シーズン。花嫁は白いブライダルベールをかぶる。本種の繊細な茎に、散らばって咲く小さい白い花が、その雰囲気をかもし出すとして、すてきに名づけられた。ツユクサと同じ科だが、葉は長さ二・五センチほどで、密生する。花は三弁が同形同大。ジャマイカの前産。



ブライダルベール

ミヤマキリシマ（深山霧島） *Rhododendron kiusianum* Makino ツツジ科

ツツジ類は一株でも花で埋まり、華やか。それが山一面に開花するとなると、それこそ花で燃え上がる。雲仙岳、阿蘇山、霧島山など、九州の名山は六月、本種の花園と化す。花時には葉が小さく、そのため花が葉を隠して花を大きく見せる。葉に剛毛があるのが他種との区別点。



ミヤマキリシマ



ジュンサイ

園芸品には白花も。

ジュンサイ（蓴菜） *Brasenia schreberi* スイレン科  
 今時少ない、旬が味わえる「野菜」。自然の沼にも生えるが、日本一の生産地、秋田県山本町では山際の水田を池に変え、栽培する。小舟に乗り、手で新芽を摘む。酢の物、吸い物はよく知られた食べ方だが、意外に天ぷらも合う。『万葉集』

では巻七に <sup>ぬなわ</sup> 蓴 が一首。ぬるぬるした長い葉柄から <sup>ぬなわ</sup> 「沼繩」と呼ぶ。

トモエソウ (巴草) *Hypericum ascyron* オトギリソウ科  
草と木が同居する属はまれ。オトギリソウ属はその少ない  
例外。低木のキンシバイやビヨウヤナギと同じく、大きな  
花を咲かせる草本に、トモエソウがある。名は花が開けば  
一目瞭然。五枚の花弁がスクリューのようによじれた巴型。  
花は直径四～六センチで、一日花。全国の日当たりのよい  
山地に生育。



トモエソウ

クサノオウ (草の黄、瘡ノ王)

*Chelidonium majus* var. *asiaticum* ケシ科  
奇妙な名。解釈は草の黄、草の王、瘡の王とさまざま。  
傷つけると橙色の汁が出て、これが皮膚病の瘡  
に効くとされた。深津正氏は「瘡治る」から「くさ  
のうる」を経て変化したのでは、とみる。尾崎紅葉  
が胃痛にかかり、弟子の泉鏡花は治療に探しまわっ  
た。ただし、効きめは鎮痛作用くらい。



クサノオウ

ハンショウヅル (半鐘蔓) *Clematis japonica*

キンポウゲ科

半鐘蔓。クレマチス属で、細い茎がつる状にのび、からま  
る。それにしても、昔、火事の際に打ち鳴らした「半鐘」  
とどう関係するのかは、花を見れば納得できよう。大きさ  
こそ三センチ足らずだが、形は半鐘を思わせる。花弁はな  
く、萼片が花弁状で、テッセンなどと違い、全開しない。  
山野に自生。



ハンショウヅル